記者発表資料

平成３１年　２月２１日
仙台河川国道事務所
南三陸国道事務所

復興道路《E45 三陸沿岸道路》

宮城・岩手県境が復興道路でつながります！

平成３１年３月２１日（木）開通

国土交通省が整備を進めてまいりました「唐桑高田道路」の「唐桑小原木IC ～ 陸前高田長部IC間 延長3.5km」が３月２１日（木）に開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

《トピック》
①現道の課題箇所を回避し、信頼性の高い高速道路ネットワークを形成。
②岩手・宮城両県を跨ぐ地域産業の振興を支援します。
③県境を越えた広域観光の振興を支援します。

１．開通区間
唐桑高田道路（唐桑小原木IC ～ 陸前高田長部IC）　延長３．５ｋｍ

２．開通日
平成３１年３月２１日　木曜日
※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします
※唐桑高田道路は、自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません

なお、インターチェンジ名称を以下のとおり決定しましたので、併せてお知らせします。

唐桑小原木インターチェンジ　←　唐桑北インターチェンジ（仮称）

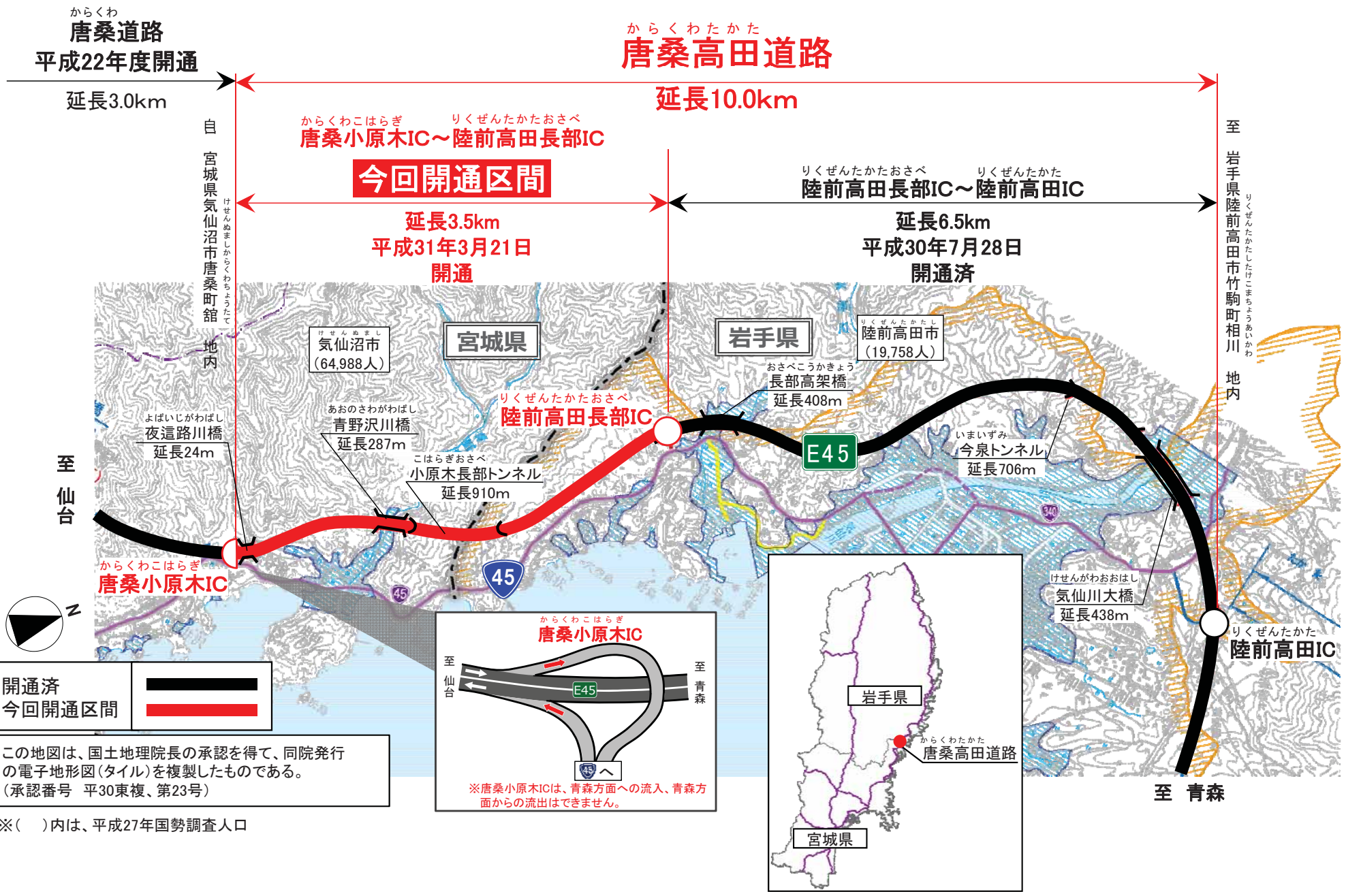
※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しております。

＜記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ
岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ＞

【お問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　TEL 022-248-4131
副所長　遠藤 雅司　（内線205）
南三陸国道事務所　TEL 0193-28-4731
副所長　古川 哲治　（内線204）

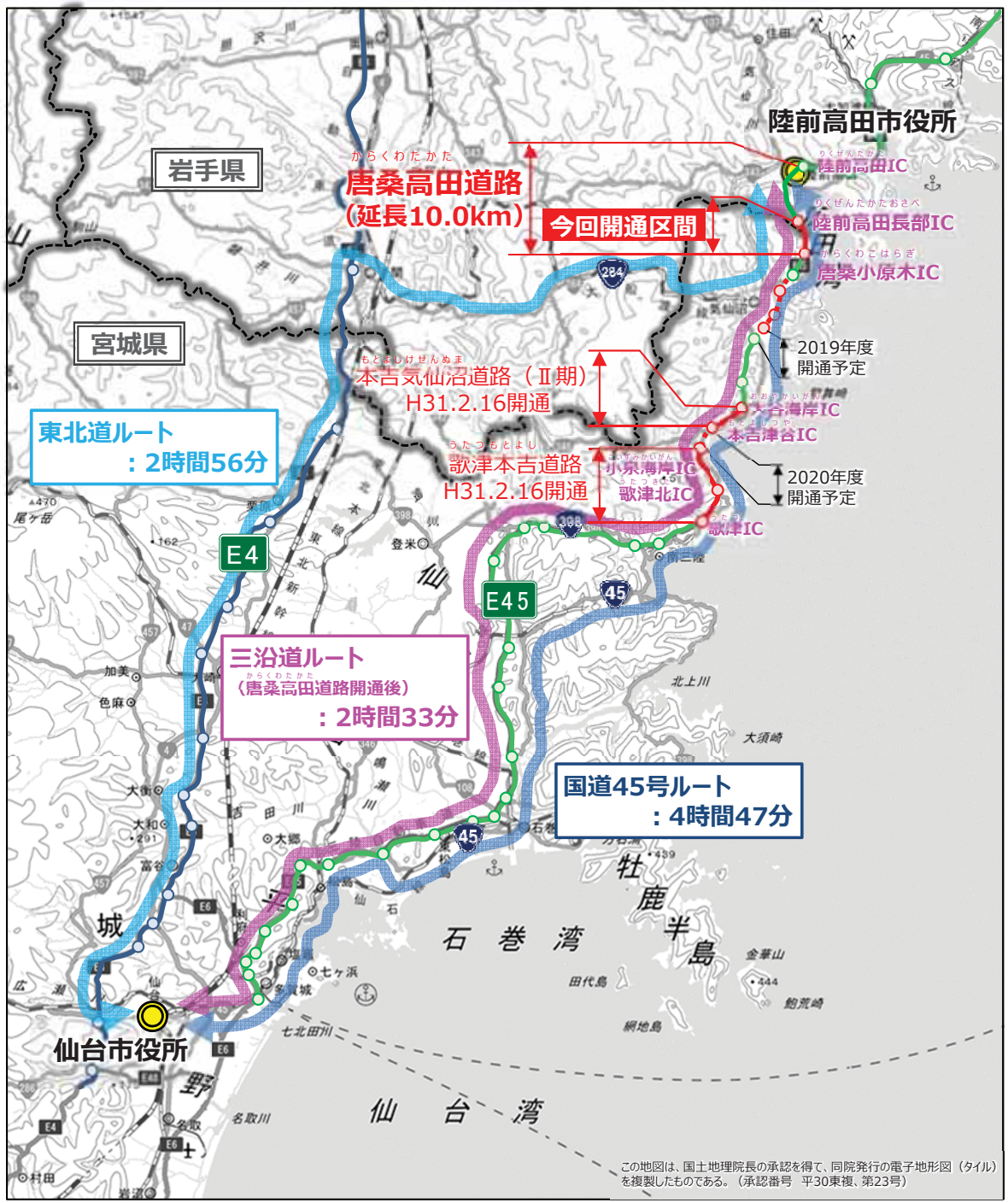
三陸沿岸道路　唐桑高田道路（唐桑小原木インターチェンジ～陸前高田長部インターチェンジ）位置図



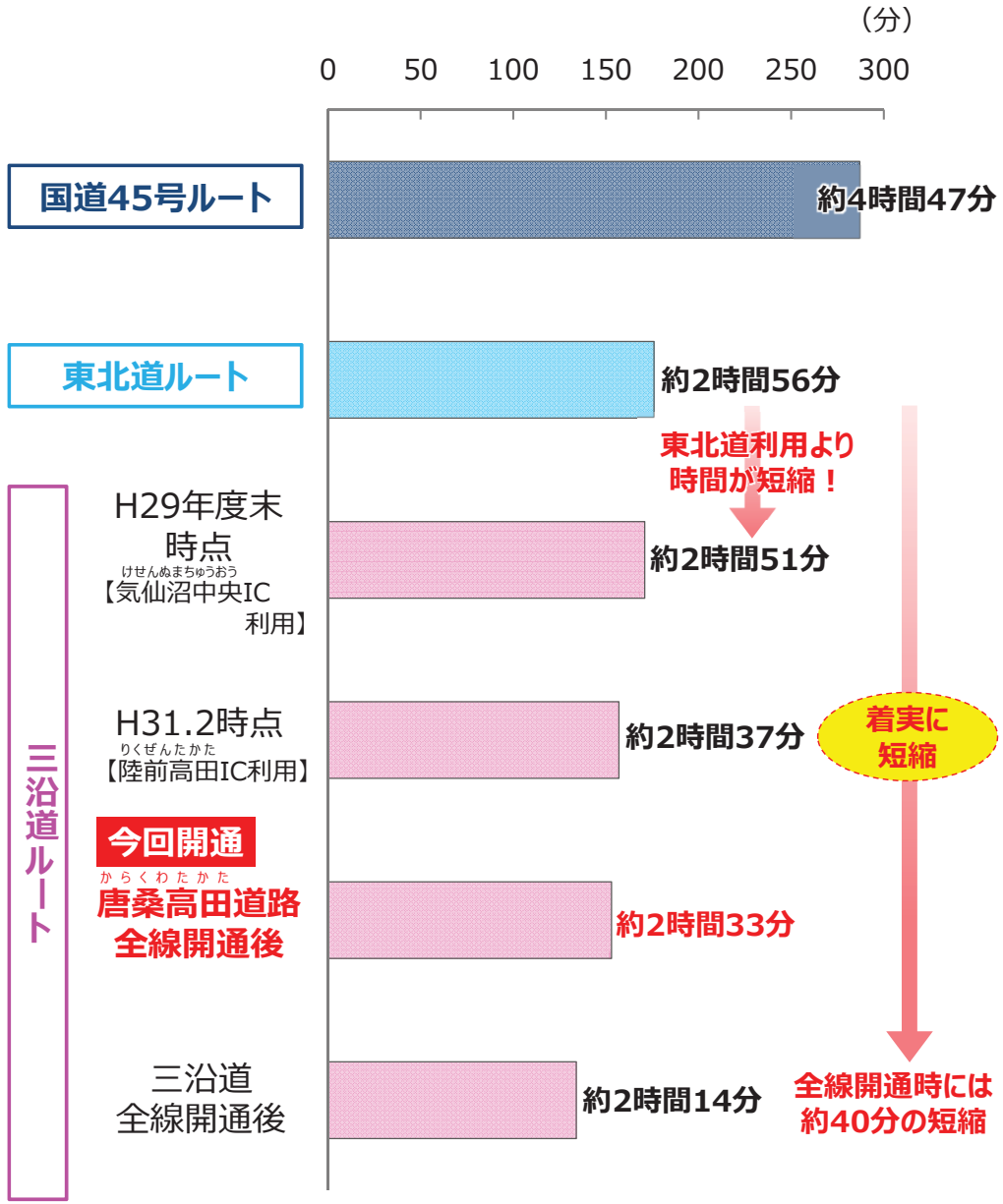
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。
（承認番号　平30東複、第23号）

※（　）内は、平成27年国勢調査人口

三陸沿岸道路整備による時間短縮



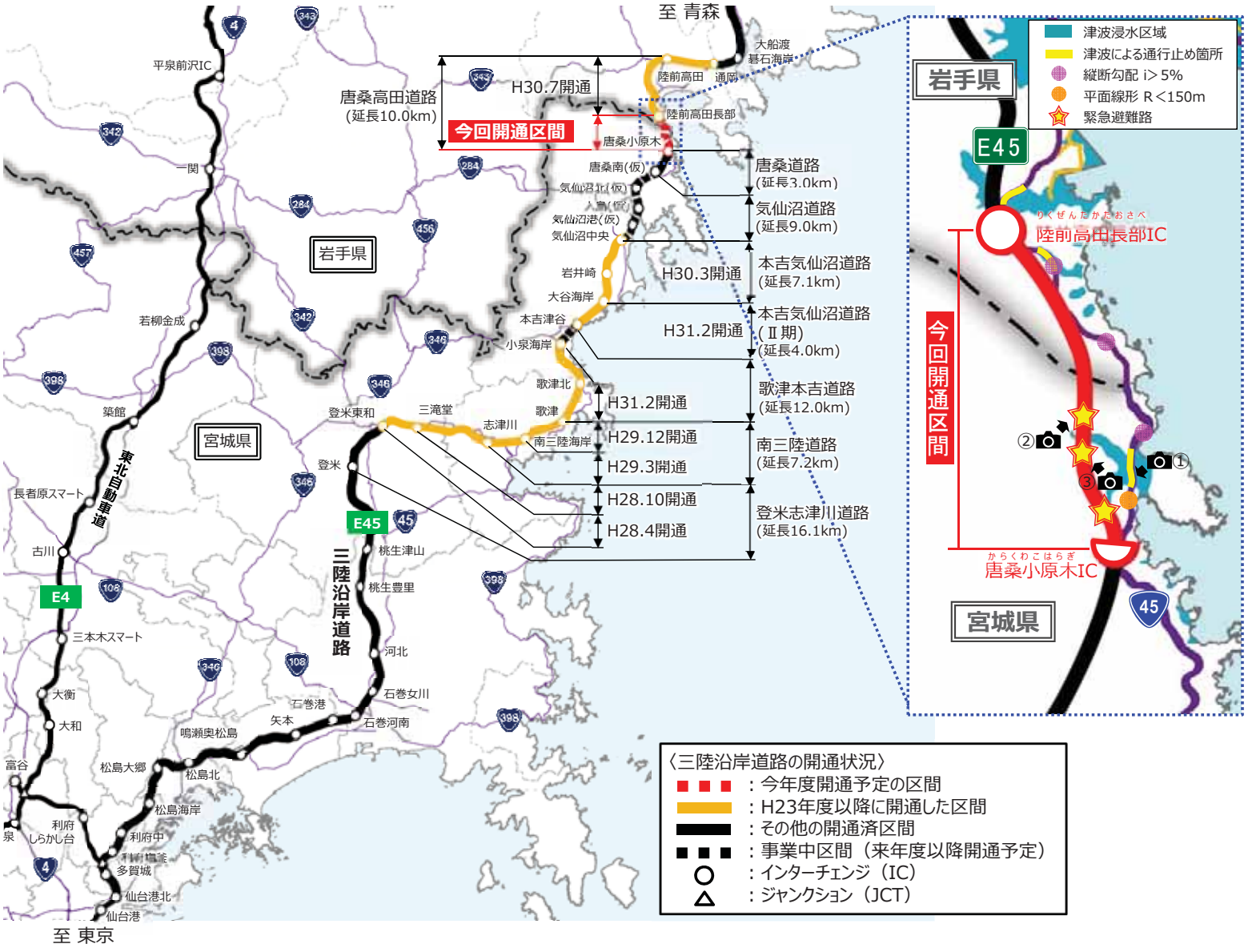
【陸前高田市～仙台市間の所要時間の変化】



資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
※陸前高田市役所～仙台市役所間の所要時間
※H27以降の開通区間は、道路構造に応じた速度で算出

［唐桑高田道路］国道45号の課題箇所を回避し、信頼性の高い高速道路ネットワークを形成

◆唐桑高田道路に並行する国道45号には急勾配・急カーブが存在するほか、震災時は津波によるがれき等で寸断された箇所も存在
◆今回の開通により、国道45号の急勾配・急カーブ箇所及び津波浸水区域を回避
◆更に大規模災害時には、緊急避難路からピンポイントの支援活動も可能となり、強靱で信頼性の高い高速道路ネットワークを形成



▼津波で通行止めとなった国道45号



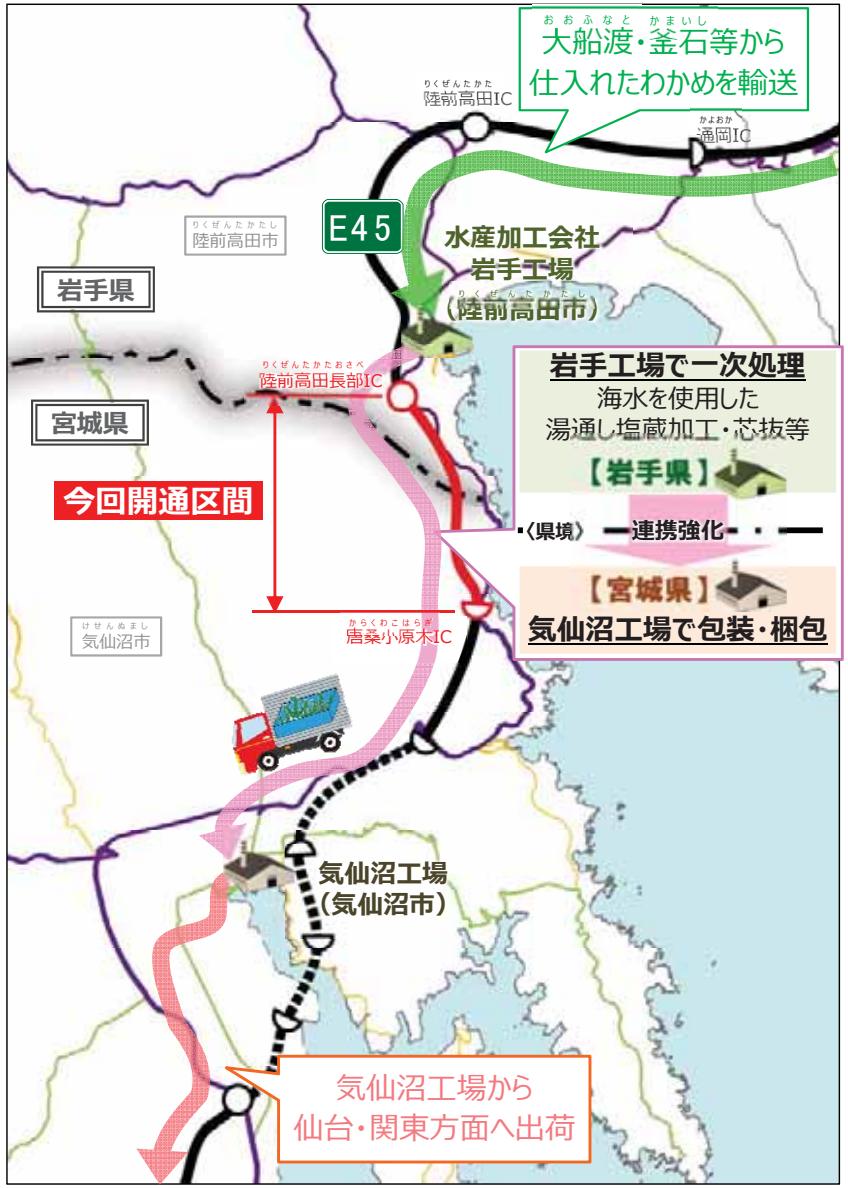
▼今回開通区間の緊急避難路



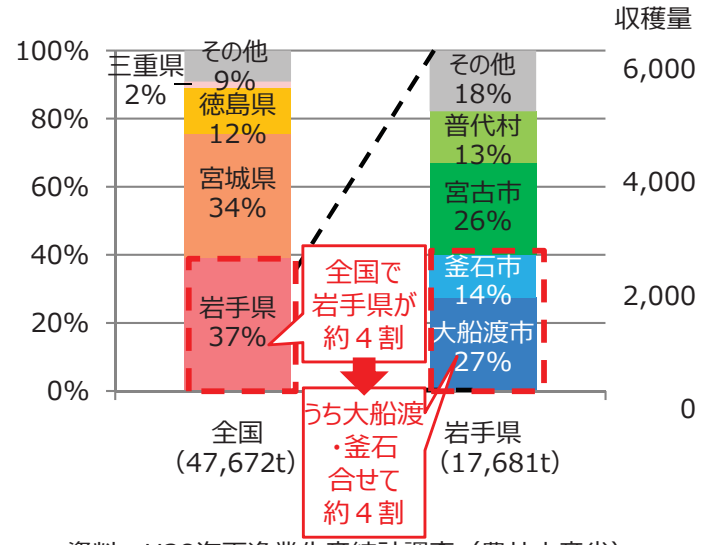


［唐桑高田道路］岩手・宮城県境を跨ぐ地域産業の振興を支援（１）

◆岩手県はわかめ類収穫量全国１位で、そのうち約４割を大船渡市・釜石市で収穫し、その量は震災後の落ち込みから回復傾向
◆収穫されたわかめは岩手工場で一次処理後、気仙沼工場で包装・梱包後、三陸沿岸道路を利用し仙台・関東方面へ出荷
◆今回の開通により、岩手・宮城県間の輸送時間が短縮し連携強化されることで、主力産業である水産業・水産加工業の復興を支援

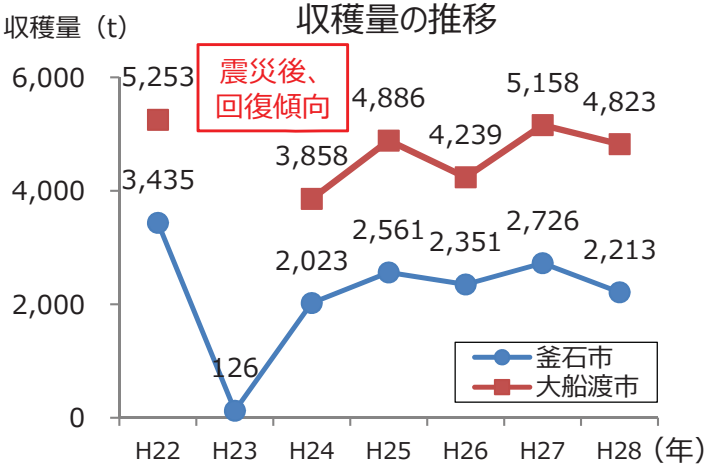


▼わかめ類収穫量（H28年）



資料：H28海面漁業生産統計調査（農林水産省）

▼大船渡市・釜石市のわかめ類収穫量の推移



資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省）
※大船渡市H23統計値なし

▼大船渡産三陸わかめ



出典：大船渡市役所HP

《水産加工業者の声》

・「生わかめ」はシートを引いたトラックの荷台に直接入れ、シートを被せて輸送を行うため、品質を確保するために少しでも早く運搬する必要があります。

・1日に最低10回以上、陸前高田の工場から気仙沼工場へ輸送するため、合計するとかなりの時間短縮が期待できます。

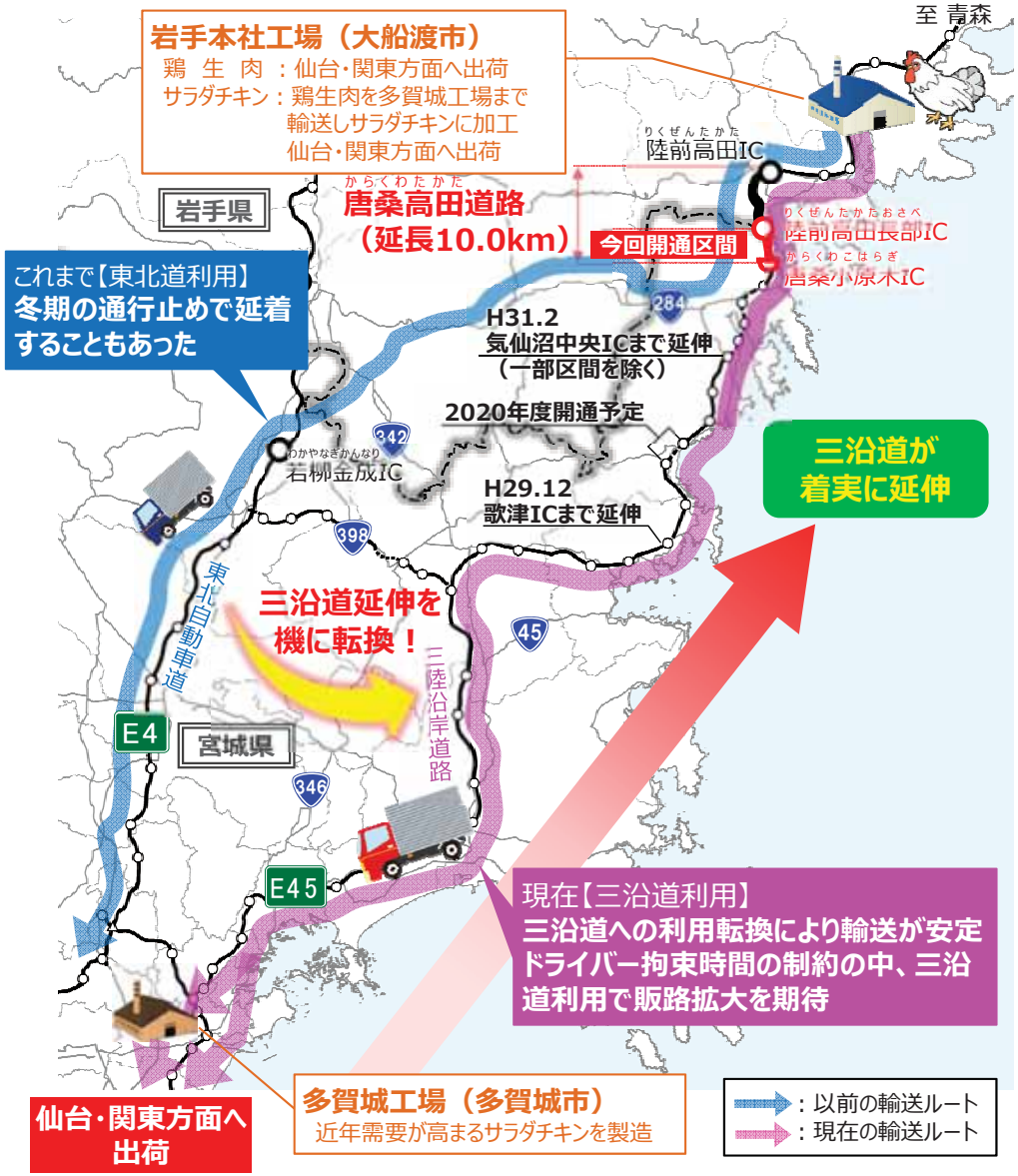
・三沿道の延伸により商圏が広がってきており、今回の開通を含む三沿道延伸に伴う出荷時間短縮により、鮮度向上・取引価格の向上、また仙台空港まで直結することで更なる商圏拡大に期待できます。

（H30.11　水産加工業者ヒアリング結果）

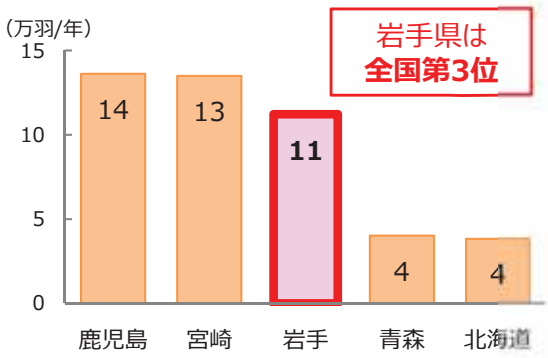
［唐桑高田道路］岩手・宮城県境を跨ぐ地域産業の振興を支援（２）

◆全国３位の出荷量を誇る岩手県産のブロイラーのうち、大船渡市の主要企業は、毎日宮城県内の工場へ鶏生肉を輸送
◆企業では、三沿道が歌津ICまで延伸したのを機に、これまでの東北道利用から三沿道を利用した輸送経路に転換
◆今回の開通により、更なる輸送効率化が図られ、信頼性向上や販路の拡大にも期待

▼大船渡市から仙台・関東方面への輸送ルート



▼都道府県別ブロイラー出荷数



資料：H30畜産統計調査（農林水産省）



《鶏肉加工会社の声》

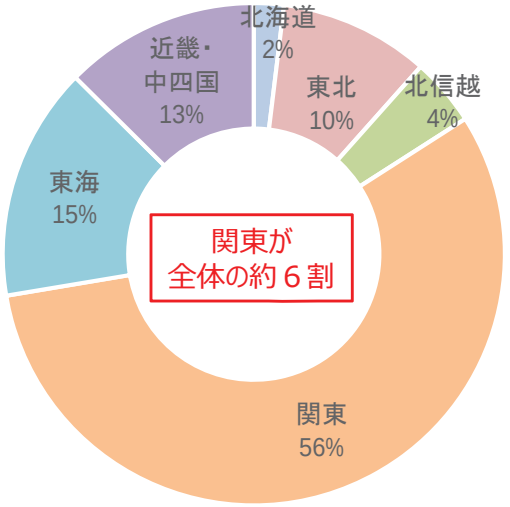
・鶏生肉は大船渡から、サラダチキンは大船渡から運んだ鶏生肉を多賀城工場（宮城県）で加工して、仙台・関東方面へ出荷しています。

・運転手の拘束時間の制限から、当日・１日以内での出荷は首都圏までとなり、販路拡大することが難しい状況でした。

・また、冬期は雪による東北道の通行止等で延着（予定時刻に遅れて到着）することもありました。

・今回の開通を含む三陸沿岸道路の開通で、運送時間の短縮による名古屋・関西圏への更なる販路拡大、三沿道経由への転換により冬期の安心感が増すことに期待しています。

▼加工鶏生肉出荷先割合

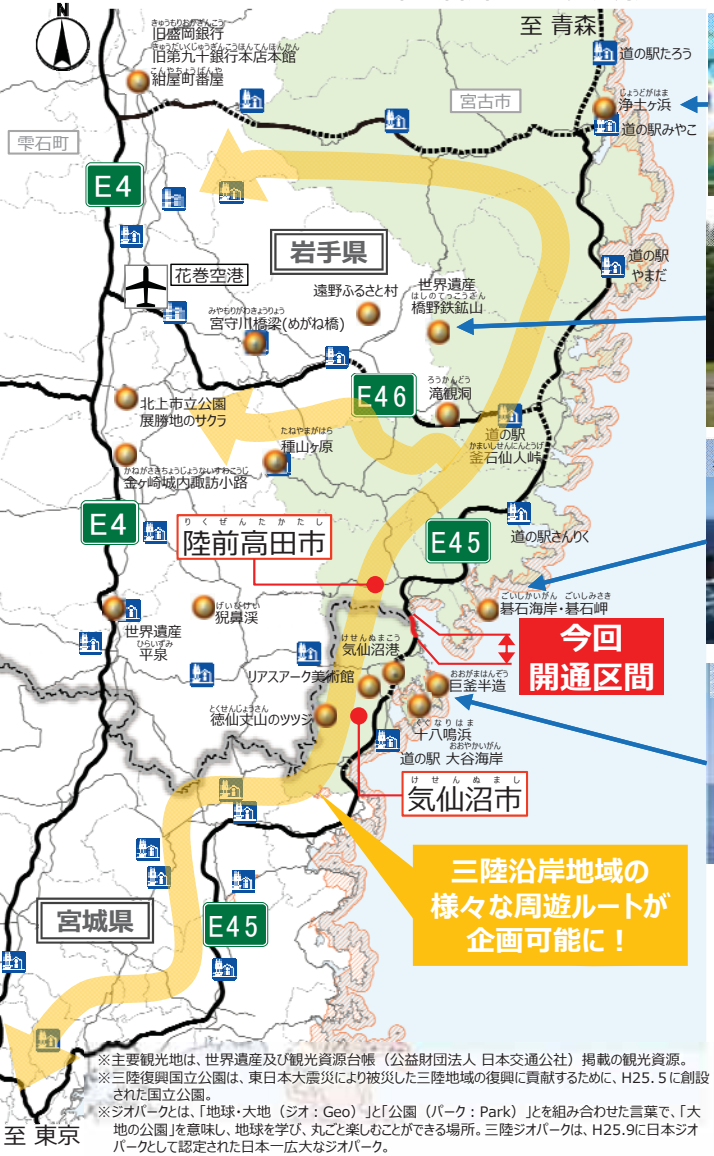


（H30.11　鶏肉加工会社（大船渡市）ヒアリング結果）

［唐桑高田道路］県境を越えた広域観光の振興を支援

◆観光資源が豊富な当該地域は、震災後に観光入込客数が落ち込んだものの、徐々に回復傾向
◆三沿道全線開通を見据え、地元では平成２８年より宮城・岩手両県の自治体が中心となり、観光振興策の研究会を設立
◆復興・復興支援道路の整備により、県境を越えた広域周遊ルートの形成、県境の交流活性化による広域観光の振興を支援

▼三陸沿岸の主要観光地







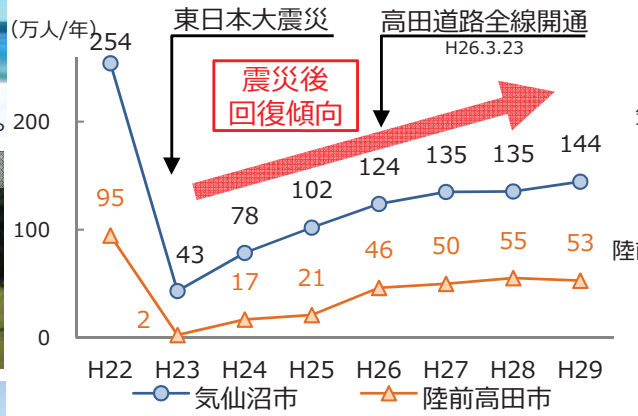




凡　例
- 開通済
- 未開通
- 今回開通区間
- 主要観光地
- 道の駅
- 復興国立公園指定エリア（H25.5指定）
- 三陸ジオパーク（H25.9認定）

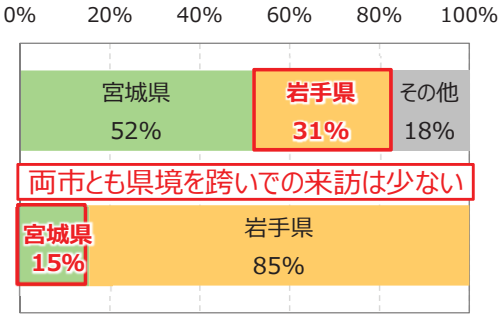
※主要観光地は、世界遺産及び観光資源台帳（公益財団法人 日本交通公社）掲載の観光資源。
※三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、H25.５に創設された国立公園。
※ジオパークとは、「地球・大地（ジオ：Geo）」と「公園（パーク：Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学び、丸ごと楽しむことができる場所。三陸ジオパークは、H25.9に日本ジオパークとして認定された日本一広大なジオパーク。

▼気仙沼市・陸前高田市の観光客数の推移



資料：宮城県観光統計・岩手県観光統計

▼休日の気仙沼市・陸前高田市来訪者の居住地割合



資料：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
※気仙沼市は旧気仙沼市滞在者(H29.7・8休日)を、陸前高田市はアバッセたかた滞在者(H29.8休日)を集計対象とした。ただし不詳値(秘匿値)は除外。

「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

気仙・気仙沼地域の県際観光推進研究会（以下「研究会」）

・三沿道全線開通を見据え、平成28年に岩手県大船渡地域振興センター、宮城県気仙沼地方振興事務所が中心となって、地域の観光振興策の調査・研究を目的に研究会を設立
・2020年を目標に、食・体験観光・震災学習等をテーマとした連携事業を検討中

《研究会の声》

・三沿道開通により気仙・気仙沼地域への観光誘客促進、特に仙台圏からの誘客に期待しています。
・三沿道開通とこの研究会で、県境を越えた観光連携・交流が根付けばと思っています。

【H30.12　研究会事務局（岩手県沿岸広域振興局）ヒアリング結果】

《ツアー企画会社の声》

・2019年春に三陸鉄道リアス線（岩手県）開業、気仙沼大島大橋（気仙沼市）開通が控えており、これらを活用したツアーを企画予定であるなど、今回の開通も含め三沿道の開通が進むことでツアー企画の幅が広がることに期待しています。

・三沿道の延伸による移動時間短縮で、バスのチャーター料金が安くなることでツアー料金を下げることができ、参加者増加・観光活性化につながることに期待しています。

（H30.12　ツアー企画会社ヒアリング結果）